



### 1. 概要

公共施設を活用したシェアサイクル事業によって、行政課題の解決に向け、実証実験を実施し導入の可能性や課題について検討を行う。

#### 【行政課題】

- ・来訪者等による観光施設間の回遊性向上
- ・商業及び地域の活性化
- ・公共交通の機能補完
- ・放置自転車の抑制 など



期間	2019年3月18日～2021年3月31日
事業者	OpenStreet (株)
エリア	①登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア ②殿町・大師河原エリア

登戸駅周辺のシェアサイクルポートの利用が  
**全国1、2位\***に！！

※事業者の OpenStreet (株) が管理する 181 ポートの売上より (令和元年 5.6.7 月の実績)

ポート数	実験エリアでは35か所(公共用地24 + 民間用地11) [市内全域では106か所]
導入自転車	電動アシスト付き自転車332台
利用料金	15分ごとに60円、24時間上限1000円 (HELLOCYCLINGの料金体系に準じている。)



### 2. 事業者の選定について

透明性・公平性を確保するため、**公募型プロポーザル方式**でシェアサイクル事業者を選定し、協定を締結。

#### 庁内検討会議

- 第1回 平成29年12月 方針検討
- 第2回 平成30年 3月 実験エリアの選定等
- 第3回 平成30年 8月 事業者選定方法の決定等

#### 事業者の募集・選定

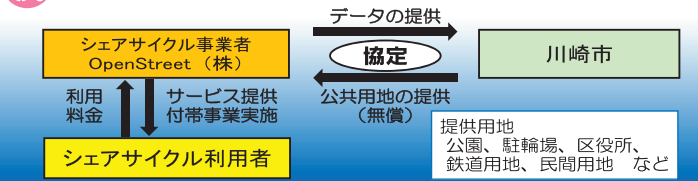
- 平成30年11月12日～12月20日 企画提案書の受付
- 平成30年12月27日 事業者によるプレゼンテーション
- 平成31年 1月22日 事業者の決定
- 平成31年 3月 6日 協定締結
- 平成31年 3月18日 実証実験開始

事業者候補者選定委員会(関係各課長11名)にて事業者候補者を選定

- 選定における主な評価項目
  - ・運営能力や事業の継続性、運営方法や設備等
  - ・観光スポットの把握、観光ルート選定や周遊に適したポートの配置計画
  - ・利便性向上に向けた提案や企業と連携したポート配置計画 など
- 評価した主な項目
  - ・150市区町村にてサービスを提供しており、市域を超えて他都市との広域連携が可能
  - ・サイクルポートの返却台数以上の自転車が返却出来ないシステムのため放置防止に有効
  - ・具体的なポート設置場所を示しており、近隣の民間のポート候補地なども含め、2年後までに75ポート、自転車500台を導入する計画を提示



### 3. 実証実験の役割分担について



### 4. ポートの選定及び設置について

公共用地 【公共用地・駐輪場・公園】	民間用地 【鉄道用地・民間用地】	
ピックアップ		
駅を中心に300mに1箇所ポートが設置できるように地図上及び現場で調査		
事業者と協議実施		
調査結果を基にシェアサイクル事業者と協議実施		
場所選定		
管理者協議・地元調整	鉄道事業者協議※	企業ごと調整
公園については地元町会長、公園管理団体などの調整が必要		
申請		公共用地: 公有財産使用承認 駐輪場: 指定管理者との協議 公園: 公園施設設置許可 民間用地: 土地使用賃借契約
許可		
設置		※包括連携協定に基づき、鉄道事業者から連携・協力の取組として、ポート用地の提供を受けております。

登戸・向ヶ丘遊園駅周辺エリア

殿町・大師河原エリア



### 5. 実証実験(周知広報)について

1. 事業者による利用促進キャンペーンの実施  
(初乗り30分無料キャンペーン、ドリンク1本無料キャンペーンなど)
2. シェアサイクルを活用したフォトコンテストの実施  
(主催: 専修大学渡辺ゼミナール、共催: 川崎市)



【シェアサイクル部門】  
シェアサイクルを使用した写真が審査対象  
シェアサイクルの一部や影などを映したもので可



### 6. 実証実験による課題について

- 行政側の課題
  - シェアサイクル事業者の導入ガイドラインや指針等の整備の必要性
    - ・利用者の利便性の向上や、シェアサイクルの安全な運用のために、官民の役割や運用基準等を定めたガイドライン及び指針の策定が必要
  - 公共用地の活用等に関する制度の創設
    - ・公共用地を活用した民間事業者によるポート設置には、関係法令の個別調整が必要となり、多様な公共空間を効率的、効果的に活用するためには、包括的な制度の創設が必要
- 事業者側の課題
  - サイクルポートごとのシェアサイクルの偏在
    - ・利用状況に偏りがあり、人気のポートからはすぐに自転車がなくなることや、満車となってしまう状況 (実施事業者による対策を検討中)
  - シェアサイクルの維持管理
    - ・利用時に、充電切れや損傷している場合がある。
  - 利用料金の支払い方法
    - ・利用がクレジットカード、キャリア決済等に限られ、プリペイドカード式等、他の決済方法への対応



### 7. 今後の展望

- 実証実験エリア内での効果検証の実施
  - ・有識者会議(学識経験者や関係団体など)を立ち上げ、成果や課題を検証
  - ・行政課題に対して、利用者アンケートや商店街・観光施設等へのヒアリングによる有効性の検証
  - ・利用状況の推移や利用目的の分析
  - ・放置自転車の実態調査による放置対策への有効性の検証
- ビッグデータを活用した自転車通行環境整備の推進
- 行政課題の解決への効果と、事業性に対する課題を勘案し、将来的には全市的な展開も視野に入れつつ最適なシェアサイクルシステムを検討

ビッグデータ(例)

自転車の滞在時間  
【(少)水色⇒青色⇒赤色(多)】